

平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで

一般財団法人國學院大學院友会

一般財団法人國學院大學院友会 平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日

□平成 29 年度は、本会発足 130 周年であり、母校國學院大學も創立 135 周年を迎えた。この節目の年に、より一層母校と歩みを寄せて、全国の支部とも協力しながら、同窓会組織としての母校・後輩たちへの支援体制の充実を念頭に活動を展開した。公益事業においても、発足 130 周年記念事業を中心に、支部とも連携しながら充実を図った。

I 【育成事業】

國學院大學の同窓会組織として、母校の発展と後輩たちの支援活動は必要不可欠なものである。我が国の将来を担う若者たちへの支援について、継続性をもって積極的に取り組むものである。

1) 國學院大學学生等支援

①「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕／平成 28 年度、29 年度の対象。

イ：学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に 100,000 円を支援した。

ロ：スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各 700,000 円を支援した。

・母校第二強化部会で好成績を修めた卓球部・ソフトテニス部・スキー部に、各 300,000 円を支援した。

・平成 29 年度寄付金額等 2,538,280 円(3 月 31 日現在) / 526 件

・平成 30 年度からの対象団体を検討、引続きこの 6 団体に決定した。

②「司法試験奨学金」制度による支援〔継続実施〕

・母校法科大学院もその募集停止を決定しているため、関係部署とも相談の上支援を検討したが、本年度の該当者はいなかった。また、この支援の廃止にむけた関係各部署との相談を経て、理事会決議を行った。

③教職を目指す学生の支援

・「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を志す学生に贈呈した。〔継続実施〕

小学校 240 冊、中学校 230 冊、高等学校 100 冊

中学校(保健体育) 100 冊、高等学校(保健体育) 100 冊、生徒指導提要 100 冊 合計 870 冊

④「國學院大學キャリア講座」(マナー編、法律編)の開催〔継続実施〕

・内 容：母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生へ、必要なマナーや労働法の基礎知識等を学ぶ講座を開催した。マナー編では、会食マナーも実践した。

・講 師：イ：ライフプラン・法律編／巴 由梨氏(文化放送キャリアパートナーズ担当)

ロ：マナー編／村上侑美枝(本会正会員)氏／総合マナーコンサルタント

・日 時：イ：平成 30 年 1 月 10 日(水) 12:50～14:20 / 14:30～16:00 / 41 名参加 申込 64 名

ロ：平成 30 年 1 月 17 日(水) 12:50～14:20 / 14:30～16:00 / 43 名参加 申込 72 名

・会 場：院友会館 地下ホール

・受講料：無料(諸経費は本会で負担) ・共 催：國學院大學

⑤「院友会長賞」による支援・表彰(学生の部)〔継続実施〕

・母校の名声を高めた学生に贈呈した。(平成 29 年度支部長会議で贈呈。)

／柔道部：藤阪泰恒(健体 2 年)君

平成 29 年 2 月 18 日開催／(ローマ)ヨーロッパオープン 60kg 級日本代表／優勝

⑥協力団体との連携 院友学術振興会を支援した。〔継続実施〕

・本会の協力団体であり、母校で学位を得た方々の会である「院友学術振興会」の活動を支援した。

(論文集「新國學」編集発行等に向けて。)〔継続実施〕

⑦球場や、競技場、試合場、応援席、また支部総会、講演会など掲げる旗や幟、横断幕などの貸出を行った。〔継続実施〕

⑧大学と連携して、学生の就職支援活動〔継続実施〕

・本部や全国各支部・部会、職域会等が一体となって、Uターンや就職の支援、アドバイス、情報提供などの支援体制、その呼びかけなどを行った。／支部就職アドバイザー：愛知県支部届出。

⑨日本の伝統文化体験支援〔継続実施〕

・留学生等に日本の伝統文化等体験、学びを支援した。大学が実施した留学生体験支援「K-STEP」を援助。

平成 29 年 4 月 8 日（土）、10 月 14 日（土）

2) 会館施設の貸与、又は経費の補助

①公益また育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助を行った。〔継続実施〕

・施設提供支援事業費 3,361,608 円 / 149 件

②國學院大學の授業、研修等については、神道研修部による学生集合教育（3 月 27～29 日）への会館施設の貸与、経費の補助を行った。〔継続実施〕

3) 全国の高校生を対象とした文化事業支援

①「第 21 回全国高校生創作コンテスト」に協力支援〔継続実施〕

平成 29 年 12 月 3 日（日）に表彰式へ出席した。

・主 催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
・協 賛：本会、若木育成会 ・後 援：文部科学省 他

②「第 13 回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」への協力支援〔継続実施〕

平成 29 年 12 月 3 日（日）に表彰式へ出席した。

・主 催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
・協 賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部
・後 援：農林水産省、全国高等学校校長協会 他

II 【講座・講演会事業】

豊かな人間形成を目的に、「我が国の発展を将来に期するためには、日本の歴史・民族性に基づくものでなければならない」という母校の建学の精神を基に、日本の伝統文化を後世に伝える役目を本法人は担うと考える。これを基軸としたさまざまな事業を通じて、これまで同様積極的に社会貢献に取り組むものである。

① 『風土記を読む（第 2 期）』の開催〔継続実施〕

・講 師：中村啓信氏（國學院大學名誉教授）
・日 時：4 月 19 日、5 月 10 日、8 月 9 日、9 月 13 日、10 月 11 日、11 月 8 日、12 月 13 日、
平成 30 年 1 月 17 日、2 月 14 日、3 月 14 日 全 10 回 毎水曜日 13：30～15：00
・会 場：院友会館 3 階大会議室 / 受講生 57 名

② 『源氏物語講座（第 11 期）』の開催〔継続実施〕

～御幸（みゆき）・藤袴（ふじばかま）の巻を読む～

・講 師：針本正行氏（國學院大學副学長・文学部教授・本会副会長）
・日 時：4 月 17 日、5 月 8 日、8 月 7 日、9 月 4 日、10 月 9 日、11 月 13 日、12 月 11 日、
平成 30 年 1 月 15 日、2 月 12 日、3 月 5 日 全 10 回 毎月曜日 13：30～15：00
・会 場：院友会館 3 階大会議室 / 受講生 20 名

③ 『万葉集への招待（第 3 期）』の開催〔継続実施〕

・講 師：城崎陽子氏（獨協大学特任教授）
・日 時：5 月 29 日、7 月 24 日（休講）、8 月 28 日、9 月 25 日、10 月 30 日、11 月 27 日（2 コマ）、
12 月 18 日、平成 30 年 1 月 29 日、2 月 26 日、3 月 26 日 全 10 回 毎月曜日 15：00～16：30
・会 場：院友会館 3 階大会議室 / 受講生 33 名

④院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第 21 回）の開催〔継続実施〕

・内 容：國學院大學で学位を得た先生方の会で、協力団体でもある院友学術振興会との共催講座。
古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・風土記・国語学など、國學院が培ってきた学問を基に、
多彩な分野から講義を行った。

・日 時：平成 30 年 1 月 9 日（火）～13 日（土）5 日間 ※1 日、2 コマ実施。
/①13：00～14：30 ②14：50～16：20

・会 場：院友会館 3 階大会議室

・定 員：各 75 名 ・のべ 749 名受講

平成 30 年 1 月 9 日／古事記	山崎かおり氏	73 名	／神道学	中道 豪一氏	74 名
10 日／万葉集	倉住 薫氏	79 名	／古事記	小林 真美氏	79 名
11 日／中国文学	松田 稔氏	56 名	／古事記	渡邊 卓氏	63 名
12 日／国語学	浅川 哲也氏	68 名	／万葉集	城崎 陽子氏	74 名
13 日／源氏物語	林田 孝和氏	88 名	／古事記	菅野 雅雄氏	95 名

・後 援：渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學

⑤生活芸術講座の開催〔継続実施〕／一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。

・儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的

芸術的価値として「美」を考えていく講座。日本文化の形と心を考え、体験する。

イ：内 容：フラワーデザイン『フラワーデザインの魅力について』

- ・講 師：川崎景介氏 マミフラワーデザインスクール校長
- ・日 時：平成 29 年 9 月 17 日（日） 14：00～16：00
- ・会 場：院友会館 3 階大会議室
- ・定 員：19 名／本会 0 名、儀礼 19 名

ロ：内 容：料理 - 『和食の手仕事-伝統を残す、日々のカー』

- ・講 師：柳原一成氏 近茶流宗家
- ・日 時：平成 29 年 10 月 15 日（日） 14：00～16：00
- ・会 場：院友会館 3 階大会議室
- ・定 員：53 名／本会 14 名、儀礼 39 名

⑥平成 29 年度 公開講演会の開催〔継続実施〕

- ・講 師：高円宮妃久子殿下
- ・演 題：『手のひらの小宇宙』
- ・日 時：5 月 27 日（土）／15:45～16:45 （支部長会議と同日）
- ・会 場：國學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホール
- ・入場料：無料
- ・定 員：300 名（内、支部長会議関係者 175 名）
- ・備 考：従来から 5 月の院友大会では、一般公開講演会を開催。

國學院大學にも多方面に亘りお力添えをいただいた。國學院大學創立 135 周年記念・國學院大學院友会発足 130 周年記念として、國學院大學博物館で『高円宮家所蔵 根付コレクション展』が開催され、「特別講演会」「オープニングセレモニー・特別鑑賞」「オープニングパーティ」も開催した。

⑦協力団体との連携 院友経済会との公開講演会を後援〔継続実施〕

- ・院友経済会・経済学部共催の、経済学部学生や一般にも向けた平成 29 年 11 月の公開講座「スペシャルトークショウ」を後援・支援した。／100,000 円の支出。
- ・講 師：渡邊俊介氏（元千葉ロッテマリーンズ投手／107 文）
- ・司 会：宮田統樹氏（元ニッポン放送アナウンサー／72 政）
- ・会 場：國學院大學渋谷キャンパス 120 周年記念 2 号館 2104 教室

⑧大規模災害被災地支援事業（旧東日本大震災被災地支援事業）〔平成 26 年度から実施〕

- ・大規模災害被災地域における支部活動を支援する。伝統文化や伝統芸能の再興、心の復興のため、など支部が地域で展開する事業を支援した。
- ・熊本県支部、大分県支部の活動を支援した。 500,000 円×2 支部。

A 熊本県支部 震災復興祈念コンサート 『言霊の力 音魂の癒し』

- ・主催：國學院大學・熊本県支部
- ・日時：平成 29 年 9 月 15 日（金） 19：00 ～ 21：00
- ・講師：さだ まさし氏（國學院大學客員教授）
- ・会場：熊本県立劇場コンサートホール
- ・来場者：1,850 名 ※さだ氏へ本会正会員推挙状を渡した。
- ・入場無料 熊本地震で被災された県内各地域の方々を優先ご招待。
- ・備考：國學院大學文化講演会としても開催。

B 大分県支部 國學院大學創立 135 周年・院友会発足 130 周年記念文化講演会

- ・主催：國學院大學・本会／主管：大分県支部／共催：若木育成会大分県支部
- ・後援：大分県教育委員会・大分合同新聞社・朝日新聞社 他
- ・日時：平成 29 年 8 月 26 日（土） 14：00～
- ・会場：大分センチュリーホール
- ・来場者：90 名
- ・講師：口演・矢野大和氏（88 経）『日本人の底力』
講演・矢部健太郎氏（國學院大學文学部教授）『秀吉権力の特質と諸大名』

⑨「公益事業実施規程」に基づき、統一テーマを設けて、公益的な講演会やさまざまな事業を支部と共に地域で実施〔継続実施〕

- ・統一テーマ「もっと日本を学ぼう」

・平成 29 年度は 8 支部が公益事業を実施し、7 支部へ支援を実施した。

A 岩手県支部 『古代蝦夷と城柵』

- ・主催：岩手県支部・蝦夷研究会／後援：盛岡県教育委員会・岩手日報社
- ・日時：平成 29 年 12 月 7 日（日） 10：20 ～ 16：30
- ・会場：プラザおでってホール ・来場者：110 名
- ・講演：①永田英明氏（東北学院大学教授）「文献資料から読み解く蝦夷」
②八木光則氏（岩手大学客員教授）「考古資料から読み解く蝦夷」
③樋口知士氏（岩手大学教授） 「文献資料から読み解く城柵官衙」
④伊藤武士氏（秋田県文化振興課副参事）「発掘調査から読み解く城柵官衙」
⑤シンポジウム／司会 鈴木恵治（岩手県支部長）・伊藤博幸氏
- ・岩手県支部は、支部独自で開催した。

B 山形県支部

- ・主催：本会／主管：山形県支部／共催：若木育成会山形県支部／後援：國學院大學
- ・日時：平成 29 年 6 月 10 日（土） 13：00 ～ 15：30
- ・会場：山形国際ホテル ・来場者：90 名
- ・講師：吉村美栄子氏（山形県知事） 「世界に誇れる歴史と文化が息づく山形県」
三橋 健氏（元國學院大學文学部教授／70 文・74 修神・77 博神）
「失われてゆく日本の心をどう救うか」

C 福島県中通り支部・福島県浜通り支部 『海山に祈る』

- ・主催：本会／主管：福島県中通り支部・福島県浜通り支部
- ・後援：南相馬市教育委員会・NPO 民俗芸能を継承するふくしまの会・
NHK 福島放送局・福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ
- ・日時：平成 29 年 11 月 11 日（土） 13：30 ～ 15：30
- ・会場：南相馬市市民情報交流センター ・来場者：50 名
- ・講師：黒崎浩行氏（國學院大學神道文化学部教授）「祭りを続ける、祈りを支える」
- ・演奏：オドバル氏（オルティンドー歌手）、直川礼緒氏（口琴）
「天空遙かー鎮魂の歌声」

D 群馬県支部 『世界文化遺産の向こうに見えるもの』－養蚕の民俗芸能と養蚕唱歌－

- ・主催：本会／主管：群馬県支部／共催：若木育成会群馬県支部
- ・後援：群馬県教育委員会・上毛新聞社・養蚕唱歌研究同好会・下南室太々御神楽講
- ・日時：平成 29 年 9 月 9 日（土） 14：30 ～ 16：00
- ・会場：ホワイトイン高崎 ・来場者：110 名
- ・講師：板橋春夫氏（日本工業大学工学部教授／84 法）
- ・演奏：養蚕唱歌研究同好会／藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団

E 神奈川県支部 『有職故実に学ぶ日本の伝統文化～唐衣裳五衣の着装を通して～』

- ・主催：本会／主管：神奈川県支部
- ・後援：神奈川県教育委員会・鎌倉市教育委員会・横浜市教育委員会・川崎市教育委員会・
神奈川新聞社・産経新聞社横浜総局・tvk（テレビ神奈川）・鶴岡八幡宮 槐の会
- ・日時：平成 29 年 6 月 17 日（土） 15：00 ～ 16：30
- ・会場：鶴岡八幡宮 直会殿 ・来場者：100 名
- ・講師：鈴木眞弓氏（國學院大學非常勤講師・元宮内庁書陵部／78 史）

F 静岡県西部支部

- ・主催：本会／主管：静岡県西部支部
- ・日時：平成 30 年 2 月 10 日（土） 15：30 ～ 17：00
- ・会場：クラウンパレスホテル浜松 ・来場者：80 名
- ・講師：久野正博氏（浜松市博物館学芸員／93 史 2） 「遠江の戦国と井伊直虎」

G 島根県支部

- ・主催：本会／主管：島根県支部
- ・日時：平成 29 年 7 月 30 日（日） 16：00 ～ 17：40
- ・会場：ニューウエルシティ出雲 ・来場者：18 名
- ・講師：石井研士氏（國學院大學神道文化学部教授・副学長）
「結婚して、よかった？ －儀礼文化の変容の現在－」

H 沖縄県支部

- ・主催：本会／主管：沖縄県支部
- ・日時：平成 29 年 6 月 3 日（土） 16:00 ～ 18:00
- ・会場：パシフィックホテル沖縄 ・来場者：53 名
- ・講師：池田榮史氏（琉球大学法文学部教授／87 史・89 博前日本史学）
「水中考古学の魅力 ～沖縄から世界へ～」

⑨ 國學院大學・國學院大學院友会連携講座〔継続実施〕 無料・一般公開

- ・大学の関係部署と相談をおこなったが、企画・諸条件の折り合いが無く、連携講座を実施するには至らなかった。関係部署とは今後も相談を重ねることとした。

⑩ サロン・コンサートの開催〔継続実施〕

- ・年 3 回実施。クラシック、ジャズ、タンゴなどジャンルを問わず、幅広い楽しいコンサートを、地域社会貢献として開催した。

A 第 19 回サロン・コンサート「～青い空、白い雲、美しいビーチ、ハワイアンミュージックの魅力～Part2」

- ・演奏 ナレオ・オカピート&フラガールズ
ウクレレギター：カルロス川北／ベース：有瀧敬之／ボーカル・ギター：浅井竜介
- ・日時 平成 29 年 7 月 22 日（土） 14:00 ～ 15:50
- ・会場 院友会館 1 階ロビー ・来場者 170 名

B 第 20 回サロン・コンサート 「心に残る映画音楽 ～あの名シーンを今！～」

- ・演奏 セリエ・ドユ・トリオ
サクソ：津田真人・瀬川香織／ピアノ：鬼沢真美
- ・日時 平成 29 年 12 月 2 日（土） 14:00 ～ 15:50
- ・会場 院友会館 1 階ロビー ・来場者 140 名

C 第 21 回サロン・コンサート「春への誘い ～数々の名曲がご案内～」

- ・演奏 ヴァイオリン：岩田慶子・青嶋祥代／ビオラ：波田生／チェロ：原永里子
- ・日時 平成 30 年 3 月 3 日（土） 14:00 ～ 15:50
- ・会場 院友会館 1 階ロビー ・来場者 149 名

III 【会館施設提供事業】

本法人は、広く地域の方々にも有効活用していただける「院友会館」を有することから、この施設が地域の方々の交流の場となり、それをきっかけとして更に地域が活性化するように、積極的に取り組んでいる。

→公益的な社会貢献活動を行う団体の本会館利用について、施設の提供また、利用の補助を引続き実施をした。活性化等、社会貢献を根底に、近隣・学校等を対象としたもの。〔継続実施〕

→大学で開催された日本の伝統文化の公演等も支援した。

平成 29 年 10 月 8 日（日） 宮崎県・福岡県合同神楽公演

・施設提供事業費 481,140 円 / 28 件

IV 【特定寄付】

学校法人國學院大學への学生奨学資金、及び実施する社会貢献事業、大規模災害での被災地学生支援等、また母校創立 135 周年を祝して寄付金を贈呈した。

1) 國學院大學への協力

①大規模災害学費減免制度関係〔継続実施〕 … 引き続き、被災在学生の支援として、國學院大學で進めている支援制度への指定寄付を行った。

… 2,000,000 円 ・平成 29 年 11 月 1 日（水）目録贈呈

②國學院大學が取り組む全国の高校生対象の文化事業への寄付〔継続実施〕

… 200,000 円

③母校國學院大學創立 135 周年を記念して、学生・生徒の奨学金として寄付金を贈呈した。

… 2,000,000 円 ・平成 29 年 11 月 1 日（水）目録贈呈

V 【同窓会事業】

会報発行発送事業及び編集発行については、より親しめる読みやすい紙面を提供した。引続き住所判明者全員に送付した。会員統括組織化事業では、本部支部の情報交換、特に公益事業等に関することや、学生支援に関すること、事務的なこと等も含めて支部長会議を開催した。院友大会は、29 年度は発足 130 周年を記念して、母校が秋に開催している「ホームカミングデー」と同日に、渋谷キャンパスで開催した。卒業生が母校へ集まることのきっかけとした。支部物産展や催し、全国の銘酒飲み比べ・西日本編も実施した。新年院友交歓会も、現役学生の司会進行等や学術・スポーツ振興資金支援団体の応援を中心に、院友の和を強めた。

1) 会報発行発送事業

①《院友会報》の編集発行 … 第366号から368号を編集発行した。〔継続実施〕

- ・今年度は会報印刷業者を変更し、紙面の工夫等を試みた。

A「366号」… 残暑見舞号/8月15日付、8月下旬発送。 秋の院友大会等PR。

- ・会報作製 全16面/92,900部/1,115,976円(税込)/@12.01円
- ・会報発送 87,255件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,590,026円(税込)
- ・支部経由 茨城県支部 3,255件/266,910円
- ・プレゼント企画を実施した。〔継続実施〕…大学オリジナル扇子:計10名に贈呈した。

B「367号」… 新年号/1月1日付、12月上旬発送。

- ・会報作製 全16面/92,300部/1,110,799円(税込)/@12.03円
- ・会報発送 89,908件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,787,207円(税込)
- ・プレゼント企画を実施した。〔継続実施〕
…大学オリジナルラベル・日本酒、焼酎、ワイン:計30名に贈呈した。

C「368号」… 新院友歓迎号/3月18日(日)付、卒業式に発行3月下旬発送。

- ・会報作製 全16面/97,450部/1,158,874円(税込)/@11.88円
- ・会報発送 86,146件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,402,876円(税込)
- ・支部経由 茨城県支部 3,211件/263,302円
- ・プレゼント企画を実施した。〔継続実施〕
…大学一筆箋・本会オリジナルペンのセット:計20名に贈呈した。

②院友会報でのPR/大学への協力

- ・「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報活動を行った。
(会報第366号、ホームページ、支部総会などで)〔継続実施〕
- ・大学が進めている「國學院カード」(クレジット機能付)への、本会としての利用時サービス決定やPRを行った。

2) 会員統括組織化事業

(1)《支部長会議:通算第37回》を開催〔継続実施〕

- ・日 時:5月27日(土)13:00~14:30
- ・会 場:國學院大學渋谷キャンパス 若木タワー02会議室
- ・備 考:支部長と事務局代表者、計2名を全国各支部から招聘し、59支部・4協力団体中、58支部・4協力団体から、115名が参加した。

／「支部運営費」等の事務的事項等、公益目的事業実施や学生支援などの説明を行った。

また、高円宮妃久子殿下ご講演、根付特別展鑑賞、オープニングパーティへ参加した。

前年度支部長勇退者も招待し、永年の功勞に対して感謝状(盾)を贈った。

(2)「感謝状(盾)」の贈呈 〔継続実施〕

- ・平成28年度に支部長をご勇退された方々へ感謝状を贈呈した。今年度は支部長会議の席上で実施した。
福島県中通支部・緑川孝夫氏、栃木県支部・吉田健彦氏、埼玉県東支部・小林操氏、埼玉県西支部・中野誠氏、滋賀県支部・岳 尋幸氏、鳥取県支部・広谷啓一氏 以上6名へお贈りした。

(3)平成29年度院友大会の母校ホームカミングデー同日開催 〔新規実施〕

母校創立135周年・本会発足130周年を記念して同日開催とした。

- ・日 時:10月21日(土)/セレモニー&特別講演会:14:20~
- ・会 場:國學院大學渋谷キャンパス「3号館2階 メモリアルレストラン」
→当初は若木タワー18階を予定していたが、予想を超える参加申し込みにより、会場を急遽変更した。
- ・会 費:2,000円
大勢の院友が、母校の今を体感し、楽しみ、つながりが強くなるように、院友がホームカミングデーを楽しみながら新たな交流が盛んになるように努めた。同日に開催の本会全国支部長会出席者、本会の顧問・参与等をご招待し更に輪を広げた。・顧問 1名、参与2名、参加。
各支部の協力のもと、「全国銘酒飲み比べ~西日本編~」を実施した。
- ・備 考:本会発足130周年を記念して、ホームカミングデーと同日に開催した。
ホームカミングデーには、10支部が物産展に参加し、当日の賑わいに花を添えた。
- ・出席者:330名

(4)《新年院友交歓会》を開催〔継続実施〕

- ・日 時：平成 30 年 1 月 20 日（土）17：00～20：00
- ・会 場：院友会館 地下大ホール
- ・会 費：6,000 円／同伴ご家族無料
- ・出席者：160 名
- ・備 考：司会進行を「國學院大學アナウンス研究会」の学生が担当した。また、学術・スポーツ振興資金支援 6 団体の監督や選手を招き、激励と交流を実施。恒例、全員参加の新年大福引大会も実施した。

(5) 本会公式ホームページの活用 → <http://www.kokugakuin.or.jp>〔継続実施〕

- ・母校・学生・各支部や院友情報の発信及び会館の宣伝・広報等、充実を図った。

(6) 院友会員のデータ管理

①院友会報の発送やホームページでの会員情報の更新〔継続実施〕

②大学と連携して、卒業生の住所調査を行った。〔継続実施〕

- ・住所変更件数 4,615 件（3 月末現在）／不着確認件数 567 件（3 月末現在）

③個人情報保護法・本会の個人情報に関する取り扱い諸規程を遵守した対応を行った。〔継続実施〕

④オフィスコンピューターの学内切替に伴い、データ管理に関する新システムへの移行に向けて、学内の関連部署と調整を行った。〔継続実施〕

(7) 各支部総会等への出席

- ・本部から役職員が参加し、情報交換や交流を行った。〔継続実施〕

- ・同窓会事業 支部・部会 67 件 総出席者数 1,933 名／協力団体 2 件／他 8 件

- ・理事会でも支部の様子、意見、総会に関する事、支部運営費に係ることなど、情報を共有した。

(8) 院友の交流／院友ゴルフクラブのコンペへの支援を行った。〔継続実施〕

- ・第 67 回コンペ／9 月 12 日（火）／大箱根カントリークラブ 33 名参加予定が、悪天候により中止。

- ・第 68 回コンペ／平成 30 年 3 月 8 日（木）／東京よみうりカントリークラブ 33 名参加。

(9) 支部運営費の支出

- ・各支部へ支部運営費を支出した。（前年度の会員からの会費納入状況により算出したもの）

平成 29 年度支部運営費 総額 1,615,000 円

(10) その他

- ・筆ペンを支部総会参加者や来館者への記念品として作製した。

- ・理事会において、次の二名を正会員に推挙。推挙状をお渡しすると共に、今後の大学・本会へのお力添えをお願いした。

佐田雅志（さだ・まさし／シンガーソングライター・タレント・小説家）氏

藤間照薫（ふじま・てるまさ／七代目市川染五郎・歌舞伎役者）氏

- ・また、学内から新たに 4 名の方々が正会員として加わった。

3) 同窓会共通事業

(1) 「院友会長賞」表彰（院友の部）

①学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称える制度だが、院友の部の該当者は無かった。〔継続実施〕

(2) 「我が家は 3 世代國大生」院友大会での記念品の贈呈〔新規実施〕

- ・本会発足 130 周年を記念し、親子三代にわたって母校で学び、卒業された方々（故人・在学生含む）へ、本会として感謝方々、記念品（置時計）をお贈りする企画を、実施した。／今年度は 2 組の方々。

(3) 新卒業生への記念品について〔継続実施〕

- ・母校・若木育成会・本会の三者共催で卒業記念品（学報縮刷版）を作製していたが、今年度から作製中止となり、改めて関係各部署との相談を行ったが、今年度は贈呈を中止した。

(4) 院友の図書 整理分類他〔継続実施〕

- ・大学図書館や図書館学講座学生等の協力を得ながら、院友の寄贈図書の整理分類を行った。〔継続実施〕

- ・基本台帳の作成、整理やショーケースでの寄贈図書陳列などを継続して実施した。

- ・平成 29 年度 寄贈図書 52 冊

(5) 会員へのサービス／電報サービスの実施〔継続実施〕

- ・結婚 5 件、叙勲・褒章・当選・就任、等、慶事への祝電等を 34 通贈った。

(6) 会費・寄付金等納入状況

- ・年会費 5,321,000 円／1,775 件：一般会員（平成 28 年度 5,376,000 円／1,794 件）

- ・十年会費 5,160,000 円／ 258 件：一般会員（平成 28 年度 6,440,000 円／ 322 件）

- ・十年会費 49,920,000 円／2,496 件：代理徴収分 125 期生分

(平成 28 年度 49,000,000 円/2,450 件：代理徴収分 124 期生分)

・入会金 27,650,000 円/2,765 件：代理徴収分 125 期生他

(平成 28 年度 26,870,000 円/2,687 件：代理徴収分 124 期生他(正会員等含む))

・維持寄付金 3,333,360 円/ 331 件 (平成 28 年度 3,156,200 円 320 件)

・基本財産寄付金 0 円/ 0 件 (平成 28 年度 33,902 円 3 件)

(7) 研修等の実施/職員の研修。業務関係の研修等に参加した。〔継続実施〕

・公益法人協会相談会及び簡易セミナー、所得税や社会保険関係の講習会へ参加し、夫々の知識向上に努めた。

・6月13日(火) / 社会保険算定事務説明会(川津浩一次長参加)

・6月26日(月) / 公益認定申請及び法人運営についての簡易セミナー(川津浩一次長参加)

・6月28日(水) / 社会保険事務講習会 算定基礎届事務講習会(吉村透課長参加)

・7月24日(月) / 公益法人協会相談会(中里部長参加)

・11月9日(木) / 年末調整説明会(吉村透課長参加)

(8) 若木育成会との協力

・本部総会、懇親会へ参加し交流を図った。また、各支部においても公益事業での共催、協力など、地域でも連携を図った。

・院友大会、新年院友交歓会に、本部役員(三役)を招待し、交流を図った。

VI【収益事業】

① 近隣企業、学内、及び地域社会に対して会館利用促進、サービスの充実を図った。〔継続実施〕

・利用者へのサービスを充実させた。(利用の多い方へのポイント等)

・会館事業収益合計 29,736,824 円

② 大学実施の「神職養成講習会」への協力〔継続実施〕

・夏期は、「第137回」の講習会では、30名の研修に協力した。

・冬期は、「第138回」の講習会では、28名の研修に協力した。

VII【法人事業】

(1) 本会発足130周年を記念して、母校神殿にて、奉告祭を行った。祭典に関しては、大学関係者の協力をいただいた。

・日 時 平成29年11月1日(水) 14:30から。祭典終了後、院友会館で直会を行った。

大学・本会理事・監事・職員 21名が参列した。

(2) 評議員会の開催…定款に基づき、定時評議員会を開催した。

・第6回定時評議員会 平成29年6月13日(火) 15:00~16:23 / 出席評議員25名(30名中)

(3) 理事会の開催…定款に基づき、理事会を開催した。

・第19回理事会 平成29年5月16日(水) 15:00~16:05

/ 出席理事21名(26名中)・監事3名(3名中)

・第20回理事会 平成29年12月20日(水) 14:30~15:48

/ 出席理事19名(26名中)・監事3名(3名中)

・第21回理事会 平成30年3月26日(月) 14:02~15:35

/ 出席理事21名(26名中)・監事3名(3名中)

(4) 業務執行理事連絡会議の開催

・諸事業の実施等に向けて、業務執行理事が連絡会議を開催した。

・第1回 平成29年5月9日(火) 14:58から。院友会館役員室

・第2回 平成29年9月4日(月) 15:10から。院友会館役員室

・第3回 平成29年12月13日(水) 14:00から。院友会館役員室

・第4回 平成30年3月19日(火) 14:00から。院友会館役員室

(5) 監査の実施…定款に基づき、監査を実施した。

・平成28年度 下半期分監査

日 時 平成29年5月2日(火) / 10:00~17:00

場 所 院友会館 小会議室において、監事3名により実施した。

・平成29年度 上半期分監査

日 時 平成29年12月6日(水) / 10:00~16:35

場 所 院友会館 小会議室において、監事3名により実施した。

(6) 定期提出書類

- ・理事会、評議員会の手続きを経て、「公益目的支出計画実施報告書」を6月23日に内閣府へ提出。一部軽易な修正指導事項があったため、修正したものを8月4日に再提出し、8月21日付で手続きが完了した。

(7) その他

- ・國學院大學創立135周年記念式典等へ、会長他役職員が参列した。

Ⅷ【その他 共通事項】

(1) 設備の補修・改修〔継続実施〕・平成29年度は、竣工30年目。（平成20年12月に一部改修実施済。）

- ・現在のエレベーターについて、6月1日から7月中旬にかけて、修繕積立金取崩し対応にて、更新工事を行った。
- ・3階トイレ付近等床亀裂補修、4階大浴場タイル張替え等の修理、1階ロビー石壁補修等を実施した。

(2) 危機管理など

- ・防災計画等を基に、日常での防災管理の徹底と、防災訓練を実施した。
7月27、29日、8月1日 実施。
- ・衛生管理の徹底。／専任職員・臨時職員(アルバイト)や関係者の日常の意識高揚と発生時対応の徹底を図っている。（インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等）

(3) 地域・地元との連携・交流

- ・地元若羽町会の通常総会、新年会へ常務理事が出席し、情報交換、交流を深めた。
- ・渋谷区立広尾中学校創立70周年記念式典・懇親会へ常務理事が出席した。
- ・渋谷区・地元若羽町会が開催した平昌オリンピックで銅メダルを獲得した、原大智選手祝賀会へ常務理事が参加し、花束を贈呈、交流懇親を行った。

以 上

附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成いたしません。

一般財団法人國學院大學院友会

以上